お茶の時間

庭のほおずき

東日本大震災から、そして福島第一原発事故発生から5か月が立とうとしている。

この国は国民の命の大切さを考えているのだろうか、本気で。

中国の、新幹線事故処理にはあきれるが、自国の原発事故や震災処理もまともならないでいるのに、他国のそれどころではない。

四季ある美しい日本のこれからは、いったいどうなるのだろうか。

心に響く言葉

分からなくたっていい
一流のものを見せ
一流の音を聞かせる
それを繰り返していくうちに
彼ら自身の物差しができる

（今年3月、98歳でなくなられた）

彫刻家・佐藤忠良さんの言葉。

幼い子どもたちには「目で触れて、体で触れて物差しを作ることがとても大切だ」と。

おのおれかくば 斧折樺（かばの木科）のまごの手

¥5,250－

岩手県二戸市
プラム工房
（インターネットでも購入可）

いつもあるもの邪魔にならない"まごの手"
数年前、生活の拠点が移り、これも買い足さなければと、繁華街に出かけた。
デパートの生活用品売場や日用雑貨を扱う商店に立ち寄り「たがどこにもさっぱり見当たらず。
困った店の方に尋ねたら、百円ショップにあるだろうと教えてくれた。
いやはや何とも驚いたことに、十数年前、祇園界隈の民芸店で見つけた"ひまごの手"や数種類のまごの手が大量に陳列してあるではないか。
作りは雑だがとりあえず一本購入した。
出会いは思いがけずやってくるもので、昨年伊勢丹の特設コーナーで、見事な作りのまごの手を見つけた。まごの手の由来とされる孫如（まご）という名の、中国伝説の仙女の指の似はどんなか知らないが、持った感触とシンプルなデザインが気に入り買うことにした。
作り手の工房主は、買い手に実際背中をかいてはかきぶ具合を確認し謝礼してくれた。
お陰で肌に優しく、心地良いかき具合に満足している。
「斧が折れる程堅い木でねえ」と作者が話していたが、使う程に良いつやが出てきている。
いつか又出会う日を楽しみに。その時やっぱり背中をかいてみなくちゃね。

歯のよもやま話　第七話

歯に関する言葉 三

歯と言う言葉は二千年以上前のインドヨーロッパ系言語で hɜdénts（ヘデンツ）でも発音するのでしょうか）といったようです。ここからギリシャ語の ὀδούς（odous オドウス odont オドント）、ラテン語の dens（デンス）、サンスクリット語（梵語）दन्त（dánt）となり現代語としては

イタリア語: dente
カタルーニャ語: dent
スペイン語: diente
ポルトガル語: dente
フランス語: dent
ルーマニア語: dinte
デンマーク語: tand などとなりました。

英語では一般に tooth（複数形は teeth）といいますが、dent と言う言葉も文語としてあり dental（歯の）、dentist（歯科医）などとして使われています。

ドイツ語では Zahn（ツァーン）といいますがこの言葉は高地ドイツ語の zand からきたもので語源は tand ということです。

スパゲッティの茹で方で茹ですぎず適度な食感があるのをアルデンテといいます。これは al dente（伊）でデンテは歯です。歯ごたえがあるという意味です。

ワープロソフトで字下げのことをインデント（indent）といいますが、行の始めを歯のようにジグザクを作るという意味です。

トライデント（trident）は tri（三つの）+dent（歯）で、海神ポセイドンが持っている三叉の戟（ほこ）を指します。ガムの名前になっています。キシリトール入りのガムにリカルデントというのがありますが、これは re（もう一度）+cal（カルシウム）+dent（歯）ということで歯にもう一度カルシウムを沈着させる（再石灰化といいます）ガムという名前です。

タンポポのことを英語で dandelion といいますが、これは dan（歯）+de（of）+lion（ライオン）ということで姿とは似つかないライオンの歯と言う意味です。葉の縁がぎざぎざしているのがライオンの歯並びのイメージです。なんだか中学生の時英語の先生に蘊蓄（うんちく）を傾けられた覚えがあるな。中世のフランス語から来たそうです。

お釈迦様のお骨を仏舎利（ぶっしゃり）といいます。仏舎利は細かな粉末でしたが歯はかたまりとして残り、これをインドではダンタプラ（佛牙城）の佛牙寺におまりしていたそうです。

インドでは歯を磨く木片（歯木）をダンタカシュータというそうです。

歯は極めて強固であるため化石として残りやすく、歯の特徴で名前がついた古生物がたくさんいます。イグアノドン（Iguanodon）は白亜紀前期の恐竜でイグアナ（おおとかげ）の歯という意味です。マンモスの仲間で第四紀北アメリカにいたマストドン（Mastodon）はおっぱいのような歯、鮮新世から更新世に生息し、日本からも化石が発見されているステゴドン（Stegodon）という象は屋根のような歯という意味です。逆に歯がないのが特徴の中生代の翼竜プテラノドン（Pteranodon）は Pter（翼）+an（無）+odon（歯）で歯のない翼竜という意味です。ドンがつくと何となく恐竜や怪獣のイメージができ、ついにラドンなんて物もできましたが命名の理由に何か歯が関係しているのでしょうか。

子田晃一

発行　のりちゃんち編集室
編集　子田　則子
950-2072　新潟市西区松美台4－66　子田歯科医院　2階
Faxのみ　025-378-8582

いつでもお出かけ日和

のんびり 悠々 海中散歩を

Let's enjoy Scuba Diving.

♪ むかし〜 むかし うらしまは〜〜♪ 助けた亀に連れられて〜〜♪ 竜宮城に来てみれば〜〜♪♪♪♪

昔話の結末はどうであれ、海中へうらしまたろうのように出かけたいものだ。

友人に誘われてスキューバ(スクーバ)ダイビングを始めた、医院の衛生士の一人がCカード(技能認定カード Certification Card)取得の為に一泊二日佐渡に出かけた。

佐渡の海は透明度があり、夏には多くの熱帯魚を間近に見られ、ダイビングスポットとして人気がある。

この海には世界でも有名な、弁慶という名のコブダイが生息している。若葉マークのダイバーもそのうちコブダイに遭遇することだろう。

コブダイ♂ (スズキ目ベラ科)

体長80cm〜1m

コブダイの幼魚 体長5cm オレンジ色で白い線がある。

夏から秋にかけて見られる幼魚は成魚と全然似ていない。

スキューバダイビングは、1943年フランスの海軍技術仕官ジャック・イヴ・クストーと、技師エミール・ガルシア(ガニャン)が潜水用呼吸装置(商品名アクアラング)を発明。

軍事や水中調査などの目的で研究されたものだが、第2次世界大戦後、世界中に広まり、まもなくレジャーダイビングへ発展。日本では1970年頃定着したそうだ。

若者中心のマリンレジャーと思われていたスキューバダイビングも、潜水器材の進歩と共に年齢層も厚くなり、近年では定年退職前後から楽しむ人が増えているという。

ダイビングの知識と技術を身につけ、この夏海中散歩に挑戦してみませんか。きっとダイビングの魅力のとりこに！

美術散歩

世界の絵本作家展Ⅲ 絵本の世界へ旅しよう

新潟市新津(にいつ)美術館 (新潟市秋葉区(あきは))

期間　開催中 〜 10月10日(月・祝)

時間　10:00〜17:00　月曜休館(9/19、9/27、10/10は開館)

観覧料　一般700円、大学・高校生500円、中学生以下無料

大人も子どもも楽しい、絵本の原画展。約200点を展示。世界で6点しか発見されていないサン＝テグジュペリ自筆の「星の王子さま」の一枚を、初版本と展示。

原画にふれると絵本の楽しさも違ってくる。絵本作家の想いを感じよう。

かつて子どもだったことを思い出して。

特別展 日本美術にみる「橋」ものがたり―天橋立から日本橋まで

三井記念美術館 (東京都中央区日本橋)
三井本館7階

期間　開催中 〜 9月4日(日)

時間　10:00〜17:00　月曜休館(8/15は開館)

入館料　一般1200円　70才以上900円

1911年(明治44年)に現在の日本橋が築かれてから100年。記念して橋を主題にした日本の美術品を集める。約120点を展示。

いいなこの本

「この博物館が見たい！」

旅に出ると、フラリ博物館に立ち寄ることが多い。目的を拵えて行くことが多いが大概は偶然の出会いで、こんなに楽しく展示品に見入ってしまい時を忘れる。この本をめくりながら、まだまだ知らないことがたくさんあるものだ。と、この先の旅を夢見る。

先号の美術散歩で案内した「紙の博物館」も掲載されていた。

著者　桑原 茂夫
発行　筑摩書房
(ちくま新書529)
価格　¥820＋税

いいもの みっけ！

コトコトくん

「100円ショップで買ったものですが、皆に好評なのでどうぞ」と、頂戴した。

鍋の底に置くだけで、麺類を茹でる時のふきこぼれを防止できる用具だ。

ソバが大好物の我家には麺専用の鍋があって、安心してたっぷり茹でているが、ほんの少し、ひとりでちょっと食べたい時など小さな鍋に、このコトコトくんは役に立つ。

暑い夏、氷を浮かせたそうめん入りすまし汁を飲むと胃の中がスッキリ気分になる。

カチャカチャ嫌な音がしないシリコンの泡立て

スーパーセンターで見つけた。

近頃、さっぱり菓子を作らなくなったが泡立て器具はいつでも台所で活躍している。

お米をとぐとき「そんなこと素手でいいでしょ！」と言われそうだが、マニキュアした手やクリームを塗った後の手でも気軽に役立てている。冬、冷たい水も気にならない。

容器に優しくて気に入っている。

月のつぶやき

豪雨で新潟県は再び大きな水被害を受けた。

凄まじい雨音に驚き、障子を開けると、滝のような降り方で庭の先が見えない！

福島も相当の雨量とニュースで知り放射能汚水が気になった。過剰反応しないほうが、と物知り顔に言う人がいるが、原発事故に対して相変らず現状が、事実が伝わってこない。

楽しいことはいっぱいあるのに心のどこかに引っ掛かるものがあってどうも中途半端が続いている。

夕方、西の空でサンピラー(太陽柱)を見た。七時過ぎ月が美しく輝いていた。

発行　のりちゃんち編集室